

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-2
地域福祉の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

地域福祉課長 三谷 耕司

電話番号

0852-22-5349

事務事業の名称	しまね流福祉のまちづくり推進事業	
目的	(1) 対象	地域において支え合いや見守りが必要な住民
	(2) 意図	住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、行政、住民組織、NPO等が協働する地域の支え合いの仕組みをつくる。
事業概要	市町村社会福祉協議会を中心に地域生活課題の解決を目指す協議の場づくり等の推進に向けた協議・情報交換等を行う経費を島根県社会福祉協議会に対し補助を行う。 自治会区福祉活動を行う団体のうち、特に優良な活動を行う団体を表彰する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 優良な自治会区福祉活動に対する知事表彰を受けた団体が存在する市町村数	目標値		14.0	16.0	18.0	19.0	市町村
	式・定義	実績値	12.0	13.0	15.0			
		達成率	-	92.9	93.8	-	-	
2	指標名	目標値						
	式・定義	取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	3,192	3,296
うち一般財源(千円)	1,623	1,704

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

○市町村社会福祉協議会を中心に、地域生活課題の解決を目指す協議の場づくり等の推進に向けた協議・情報交換等が開催された。
○優良な自治会区福祉活動を行っている団体として、H25年度から累計31団体を表彰した。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

○県内15市町村で他の模範となるような優良な自治会区福祉活動を行っている団体が31団体存在する。
○島根県社会福祉協議会により、県内の市町村社会福祉協議会を主体に地域生活課題の解決を目指す協議の場づくり等の推進に向けた協議や情報交換等を行うセミナー等が開催された。
○また、市町村社会福祉協議会の個別会議に対し島根県社会福祉協議会職員が訪問し、支援を行った。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

○地域生活課題が複雑化・多様化してきており、その解決方法が地域で十分検討されていなし。

②困っている状況が発生している「原因」

○地域には、様々な地域生活課題が存在しているが、解決方法が判らない市町村も多い。

③原因を解消するための「課題」

○市町村において、地域生活課題の解決を目指す協議の場づくりや情報交換等が必要。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

○地域生活課題解決に向けた取組を引き続き支援していく。
○引き続き、他の模範となるような優良な自治会区福祉活動を行っている団体を表彰し、その活動を他地区に広めていく。
○島根県社会福祉協議会や市町村社会福祉協議会と連携し、引き続き現場のニーズや活動実態の把握に努める。